

## 環境まちづくり委員会 行政視察報告書

1. 実施日 令和6年11月11日（月）

2. 視察地及び視察テーマ

(1) 羽村市 日都産業株式会社  
「市内企業状況について」

3. 視察者 環境まちづくり委員会

副委員長：山崎陽一

委員：櫻沢裕人 池澤敦

秋山義徳 富永訓正

4. 視察報告（適宜 撮影した写真・配布資料のデータ等を添付してください。）

(1) 日都産業株式会社 「市内企業状況について」

視察日時	令和 6年 11月 11日（月） 午後2時～4時
視察先	羽村市 日都産業株式会社 視察先担当者職氏名 羽村工場長 永尾 重光 氏 営業本部長 西尾 幸三 氏 羽村工場技術部デザイン課課長 小林 原生 氏
<b>【日都産業株式会社の概要】</b> 日都産業株式会社 本社：東京都杉並区宮前5丁目19番1号 代表者：代表取締役社長 山中慎吾 創業年：1939年（昭和14年）3月25日 設立年：1944年（昭和19年）6月9日 事業の目的： 1. 公園、学校等に設置する遊戯施設（遊具・健康器具）、休養施設の設計・開発・製造・販売・設置工事 2. 公園、学校等に設置する安全施設、管理施設の設計・開発・製造・販売・設置工事 3. 公園、学校等に設置された施設の保守点検および維持管理 4. 前各項に附帯する一切の業務 資本金：2600万円 従業員数：80名 売上高：17億円（2022年9月期） <b>【企業概要】</b> 1939年創立 遊具を作り続けて70年以上 戦前は飛行機の椅子などをつくっていたが、戦後はこれからの日本の復興を担っていく子どもたちに対して「遊具や体育器具を通して健康な人になってほしい」という思いから遊具づくりを始めた。	

ぶらんこ、すべり台、鉄棒、ジャングルジム等、公園・学校を彩るさまざまな遊具、健康器具の専門メーカー。世界初となる球形の回転式ジャングルジム「グローブジャングル」を1957年開発した会社。

羽村市は、令和5年12月1日に、日都産業株式会社とネーミングライツ・パートナー協定を締結。契約期間は、令和5年（2023年）12月1日から令和10年（2028年）11月30日まで（5年間）。

施設：江戸街道公園（愛称：にっとぱーく） インクルーシブ遊具3基、案内板2基の設置（総額795万7,400円相当）

#### 【視察目的】

日都産業株式会社は、遊具のトップ企業であり、羽村市と令和5年12月から5年間のネーミングライツ・パートナー協定を締結し、江戸街道公園（愛称：にっとぱーく）にインクルーシブ遊具の提供を受けている。職住近接のまちとして多くの企業が存在する羽村市において日都産業株式会社は代表的な企業のひとつである。市内公園にも日都産業製の遊具が設置されており、にっとぱーくのインクルーシブ遊具は、障害のあるなしに関わらず誰もが遊べる新しい遊具である。そのような遊具をつくる企業の「ものづくり」について学ぼうと考えたため。

#### 【視察概要（内容）】

○永尾工場長より企業概要説明

1944年創立以来、遊具を作り続けている。1978年9月羽村工場が開設。

戦前は飛行機の椅子などをつくっていたが、戦後はこれからの日本の復興を担っていく子どもたちに対して「遊具や体育器具を通して健康な人になってほしい」という思いから遊具づくりを始めた。ぶらんこ、すべり台、鉄棒、ジャングルジム等、公園・学校を彩るさまざまな遊具、健康器具の専門メーカー。世界初となる球形の回転式ジャングルジム「グローブジャングル」を1957年開発した。時代と共に則した遊具を製造しており近年ではインクルーシブ遊具を作成している。遊具シェアはトップ企業。

デザイン、製造を自社で行っていて、安全と品質にこだわっている。自社の強みは、「デザイン力」、「それを実現させる設計力」、「安全・品質にこだわる職人気質の現場力」にある。デザインするに当たっては、利用者の安全・安心を追求し、素材や形状にこだわってつくっていること、工場を視察するときれいに整理され無駄のない配置であり、工具も紛失しないようにセクションごとに決められた場所に置くようになっている。出来上がったパーツも一つ一つチェックをしている様子を見ることができた。

○小林課長より「4KID 包括連携協定」、「ネーミングライツ・パートナー」について説明

日都産業株式会社は、2022年8月8日に羽村市と「4KID 包括連携に関する協定」を締結し、公園を中心的なフィールドとした子どもの笑顔があふれるまちづくりに連携している。「公園遊具の利用促進」、「新しい遊具の共創」、公共施設での待合者向け遊具等の設置、「小学校・保育施設等の安全確保指導」、「遊具で遊ぶ親子モデル撮影会の実施」、「公園づくりアドバイザーの就任」、「工場見学の実施」、「職場体験の実施」について連携を行う。

また、令和5年12月1日から5年間の江戸街道公園ネーミングライツ・パートナー協定を締結し、「にっとぱーく」の愛称と遊具3基、案内板2基の提供を受けている。「にっとぱーく」では、遊具体験イベントや羽村特別支援学校との意見交換などが行われている。

・質疑応答の内容

Q：デザインや品質にこだわりがある羽村工場ではデザインは何人で作成しているのか。

A：デザイナー5人、設計6人でやっている。

Q：どのような遊具が売れているのか。

A：公園遊具が売れている。公園のぶらんこシェアは全国トップクラスである。

Q：ネーミングライツ・パートナーになった理由は。

A：市の担当者から熱心に説明を受け、遊具の提供もネーミングライツの対象となることができたため。

【所感】

改めて市内企業について知る機会を得た。職住近接のまちとして企業と共に成長してきた羽村市。近年では企業の業績不振や移転、廃業など企業を取り巻く環境は厳しい。そのような中、独自の考えにより輝いている企業があることがわかった。

日都産業株式会社はユーザー目線で、安全・安心を第一に考え、ものづくりを行ってきた。相手のことを考え、こだわりを持って仕事を行うことは、行政にも通じるものであると考える。より良いものを生み出そうとする必要性を改めて考える機会となった。

こうした企業を知ること、知らせることで各企業の発展に寄与できればと考える。更には羽村市の発展に繋ぐことになることを望む。

添付資料（写真・資料等）※任意（本文中に貼付していただいても結構です。）



-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----



-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

